

タイトル	2014 年度経営学部活動報告
著者	
引用	北海学園大学経営論集, 13(1): 121-152
発行日	2015-06-25

## 2014 年度 経営学部活動報告

私たち経営学部は、私たちの教育や研究の活動状況について広くご認識いただき、かつ経営学部が持つさまざまな魅力を見いだしていただきたいとの願いから、毎年度「経営学部活動報告」を発刊しています。

小冊子ながら、2014年度の興味深い講義や事業、所属学生の様子、所属教員の研究活動、そして市民のみなさまに向けた対外的な活動の状況等を以下のようにまとめました。いずれもコンパクトにわかりやすく、画像を多く含んで見やすく作成しておりますので、ぜひお手にとってご覧ください。

経営学部の新たな魅力を再発見していただける機会になれば幸いです。

1. 北海道中小企業家同友会連携事業 特別講義『地域経営者に学ぶ』
2. 全国信用組合中央協会連携事業 特別講義『地域金融を学ぶ』
3. 北海道経済産業局連携事業 特別講義『地域の事業創造』
4. 特別講演会
5. 菅原秀幸研究室講演会
6. 経営学部グローバル人材育成セミナー
7. 学部学生の企業研修
8. 海外総合実習プログラム
9. 保護者懇談会
10. 就職内定状況
11. 経営学部教員の学会発表活動
12. 経営学部刊行物
13. 人事異動等
14. 経営学部の教育目標

# 1. 北海道中小企業家同友会連携事業 特別講義『地域経営者に学ぶ』

日 程：2014年9月24日～2015年1月21日 毎水曜日 12：40～14：10

会 場：7号館 2階D 20番教室

概 要：2010年より、北海道中小企業家同友会で活躍している経営者を講師に迎え、これまで実践されてきた経営についての講演をお願いしてきています。

学生には、経営者の工夫と志と感想を一貫して求めています。学生たちは、実際の経営者の意思決定や判断、工夫やアイデア、そのための準備、組織をまとめ上げる努力といった活動と、経営学の授業で学ぶ抽象的な説明や理論を結びつけ意味を理解します。とりわけ、新製品やサービスの工夫や設計をどのようにおこなうか学ぶことを意図しています。この授業では、経営学を立体的に、明確に学びとることをめざします。実社会で働くという事の面白さを、従業員の側から、経営者の側から、起業家の側から感じる事ができ、個々のキャリア計画を促進させることができます。

また、2013年から「地域経営者に学ぶ」の発展企画「社長に弟子入りプロジェクト」を開始。2013年は2社6人、2014年は10社14人の参加です。2日間社長に張り付き、社長をとことん学ぼうとする企画です。

## ＜地域経営者に学ぶ：講師一覧＞

実施日	会 社 名	役職	講師名
10月1日	(株)プリプレス・センター	代表取締役	藤田 靖氏
10月8日	(株)ヤブシタ	代表取締役	森 忠裕氏
10月15日	(株)レイジックス	代表取締役	敬禮 匡氏
10月22日	リージョンズ(株)	代表取締役	高岡幸生氏
10月29日	(株)ティーピーバック	代表取締役	池川和人氏
11月5日	三晃化学(株)	代表取締役	渡辺民嗣氏
11月12日	アイリスク研究所(株)	代表取締役	川合秀博氏
11月19日	(株)内池建設	代表取締役	内池秀敏氏
11月26日	(株)光合金製作所	代表取締役	井上 晃氏
12月3日	北海道郵便逓送(株)	代表取締役	加藤欽也氏
12月10日	石上車輛(株)	代表取締役	石上 剛氏
12月17日	曲イ 田中酒造(株)	代表取締役	田中一良氏
1月14日	北海道オフィス・マシン(株)	代表取締役	神野裕三氏



北海道オフィスマシン(株)  
代表取締役社長 神野 裕三氏



曲イ 田中酒造(株)  
代表取締役 田中 一良氏



石上車輛(株)  
代表取締役 石上 剛氏



㈱光合金製作所  
代表取締役社長 井上 晃氏



㈱内池建設  
代表取締役 内池 秀敏氏



アイリスク研究所㈱  
代表取締役 川合 秀博氏



三晃化学㈱  
代表取締役 渡辺 民嗣氏



㈱ティーピーパック  
代表取締役 池川 和人氏



リージョンズ㈱  
代表取締役 高岡 幸生氏



㈱レイジックス  
代表取締役 敬禮 匡氏



㈱ブリプレス・センター  
代表取締役 藤田 靖氏

〈社長に弟子入りプロジェクト〉



北海道新聞 8月16日朝刊  
道新で取り上げられました。



2014年12月19日  
初の報告会が開催されました。

## 2. 全国信用組合中央協会連携事業 特別講義『地域金融を学ぶ』

日 程：2014年4月9日～2014年7月16日 毎水曜日 14：20～15：50

会 場：7号館 2階D 20番教室

概 要：本講義は、これまで日本のどこの大学でも学ぶことのできなかった、地域経営者にとって最も重要な外部環境である地域金融機関に講義を行ってまいります。全国信用組合中央協会の協力を得て、北央信用組合の経営者、管理者を中心として行われました。

学ぶ内容は、国と道の金融政策、地域金融の役割・戦略と管理・具体的な仕事・地域経営者の関係・求める人材、です。

### <講師>

実施日	講義内容	講 師
4月23日	地域金融と信用組合のあり方	(一社)全国信用組合中央協会 常勤顧問 野村 攻氏
4月30日	信用組合の歩みと役割	宮崎県南部信用組合 理事長 平原春義氏
5月7日	金融動乱と北央信用組合の誕生	北央信用組合 専務理事 林 伸幸氏
5月14日	北海道の中小企業金融と金融政策	日本銀行・札幌支店 支店長 曾我野秀彦氏
5月21日	信用組合融資業務の実際	北央信用組合 常勤理事 中田 均氏
5月28日	信用組合と国等の中小企業金融支援制度	北央信用組合 審査部長 畠山則和氏
6月4日	北央信用組合の営業戦略	北央信用組合 業務推進部長 但木章一氏
6月11日	北海道の経済動向と金融行政の実際	北海道財務局 局長 鈴木正俊氏
6月18日	金融行政（地域金融機関監督指針）と信用組合経営	北央信用組合 常務理事 長谷川幸夫氏
6月25日	お客様から見た信用組合	大黒自工(株) 代表取締役 紫藤正行氏
7月2日	お客様から見た信用組合	(株)ファスト・フード・サービス 代表取締役社長 新田 實氏
7月16日	信用組合で働くということ	北央信用組合 常務理事 渡邊欣也氏

〈授業風景〉



全国信用組合中央協会  
野村 攻氏



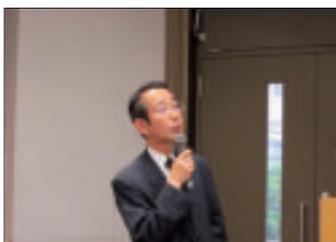
宮崎県南部信用組合理事長  
平原 春義氏



北央信用組合  
林 信幸氏



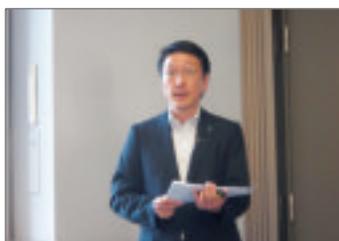
日本銀行札幌支店長  
曾我野 秀彦氏



北央信用組合  
中田 均氏



北央信用組合  
畠山 則和氏



北央信用組合  
但木 章一氏



北海道財務局長  
鈴木 正俊氏



北央信用組合  
長谷川 幸夫氏



大黒自工(株)代表取締役  
紫藤 正行氏



(株)ファスト・フード・サービス  
代表取締役社長  
新田 實氏

### 3. 北海道経済産業局連携事業 特別講義『地域の事業創造』

日 程：2014年9月24日～2015年1月21日 毎週水曜日 16：00～17：30

会 場：7号館 D20教室

概 要：本年は【地域産業育成と事業創造】をテーマに行います。学生諸君は、事業への社会的な期待や事業を立ち上げる際の様々なサポートがあることを、実際に担当している本人から話をきくことができます。また、実際に起業した人たちをよび、問題となること、重要となること、面白いことを直接聞き、現実的理解を深めることができます。事業立ち上げに関する重要ポイントを学び、身につけてもらいます。構成は、事業育成のための支援者と事業の経営者の視点と工夫、ワークショップの3部構成です。支援者は、第1に資金に関して地域金融機関、VC（ベンチャーキャピタル）です。その他として、地域経営者団体、経営コンサルタント会社、経済産業省の育成策を学びます。経営者は、ベンチャー経営者と、特に女性起業家をお呼びします。このあと、グループに分かれ、相互に意見交換をし、グループで最も良い案を決め皆でブラッシュアップし、多くの経営者の前でプレゼンし1位から2位を投票で決めます。このように、実際の身になるような学びの場を学生の皆さんに提供します。

#### 〈経営学部特別講義「地域の事業創造」2014年度講師一覧〉

実施日	講義内容	講 師
9月24日	経済産業省・北海道経済産業局の役割	経済産業省北海道経済産業局 総務企画部総務課長 塩手能景氏
10月1日	地域で期待されるベンチャービジネス	(株)道銀地域総合研究所 取締役常務執行役員 浦田祥範氏
10月8日	イノベーションの構造と要素の結合	北海道大学産学連携本部 特任教授 荒磯恒久氏
10月15日	事業計画と具体化，着想の仕方。	(株)ティーピーパック 代表取締役社長 池川和人氏
10月22日	事業計画を立ち上げるには	(株)ときめきサブリ 代表取締役社長 岩館 空氏
10月29日	「信用保証協会における創業支援」～創業時のポイントについて～	北海道信用保証協会 業務部企業支援課 山田 迪氏
11月5日	わが社のビジネスモデル，これまで，今，これから	SHIRAOS LLC 代表 古俣臣弥氏
11月12日	経済産業省の人材政策と創業支援政策	経済産業省北海道経済産業局 地域経済部産業人材政策課長 江川裕之氏
11月19日	ベンチャーキャピタルの役割と事例	北海道ベンチャーキャピタル(株) 代表取締役社長 三浦淳一氏
11月26日	「電気自動車の逆襲：イーロン・マスクと起業家の志」	在札幌米国総領事館 領事 セオドア・ディール氏
12月3日	わが社のビジネスモデルと維持する工夫1	Rimrim 代表 河野有美氏
12月10日	わが社のビジネスモデルと維持する工夫2	Rimrim 畑原李香氏

<授業風景>



北海道大学特任教授  
荒磯 恒久氏



(株)ティーピーパック社長  
池川 和人氏



(株)ときめきサプリ社長 岩館 空氏  
学生たちと岩館氏 (右)



北海道信用保証協会  
山田 迪氏



北海道経済産業局  
江川 裕之氏



北海道ベンチャーキャピタル(株)  
社長 三浦 淳一氏



在札幌米国総領事館領事  
セオドア・ディール氏



Rimrim  
畑原 李香氏



起業家など 20 人の審査を受ける  
プレゼン後の 15 チームの代表者

<2014 年度「地域の事業創造」賞 ビジネスプラン大賞・準大賞表彰式 (2015 年 1 月 21 日)>



左二人準大賞 (川瀬結女子さん, 向宏礼君)  
右二人大賞 (六本木椋君, 山田祐也君)

## 4. 特別講演会

【担当：大平義隆教授】

経営学部では、1年経営学概論の授業で、特別講演会『サウジアラビアの経済』を開催しました。講演者に駐日サウジアラビア王国大使のアブドゥルアジーズ・トルキスターニ博士をむかえ、とても華やいだ、楽しい時間を過ごすことができました。博士は、学生時代を日本で過ごしていたため日本語も堪能で、古くから日本が石油のほとんどを輸入する経済的関係から極めて大切なパートナー国であること、友好は若い人たちの心のつながりが大切であること、興味を持った学生はぜひサウジを訪れてほしい希望を持っていることなどを話してくださり、時間があつという間に過ぎてしまいました。終了後は学生たちの中に入り、学生たちと写真を撮り、語らい、楽しんでおられました。

テーマ：サウジアラビアの経済

日 時：2014年5月26日(月) 10:40～12:10

講 師：駐日サウジアラビア王国大使 アブドゥルアジーズ トルキスターニ博士

会 場：7号館D 20教室

**経営学部特別講演会**  
**『サウジアラビアの経済』**

2014年5月26日(月) 10:40～12:10  
7号館2階 D20番教室

サウジアラビアの経済と企業経営について、日本でもよく知る大使に日本語でご紹介いただきます。変更  
届出にことさらに、ごめからこの機会に「産業界パートナーシップ」のあり方について、お話を伺います。



講師：アブドゥルアジーズ トルキスターニ博士  
Dr. Abdul Aziz bin Turki

駐日サウジアラビア王国大使。サウジアラビア王国カーイフ生まれ、キング・アブドゥルアジーズ  
大学卒業。1984年早稲田大学修士号取得。1999年カイロ大学博士号取得。エジプト・シイマ  
ム・ムハンマド・ビン・サウード大学副学長。キング・サウード大学経営管理院院長等職任。  
その他、本邦にて様々な業種の管理職を務める。

【問い合わせ先】  
北海学園大学 経営学部事務局



## 5. 菅原秀幸研究室講演会

【担当：菅原秀幸】

普段、学生の皆さんが接することのない、各界の第一線で活躍している方々をお招きし、「異質なものととの出会いが、創造につながる」という統一テーマのもと、6回の特別講演会を実施。通常の講義では聞くことのできない各界の最前線のお話をうかがい、脳みそに新しい刺激を与え、汗をかく。机上の空論ではなく、実践に役立つ智慧を体得することが、6回の特別講演会の狙いである。

【第1回】

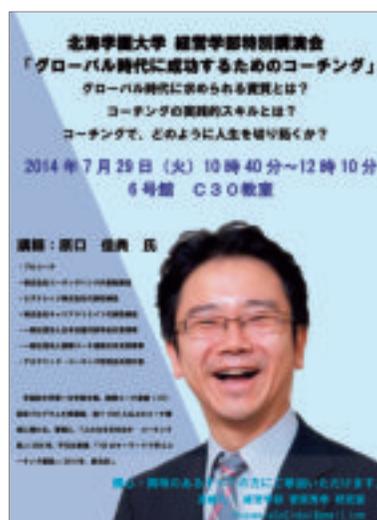
テーマ：グローバル時代に成功するためのコーチング

日時：2014年7月29日(火) 10:40~12:10

講師：原口 佳典氏

株式会社コーチングバンク 代表取締役

会場：6号館C 30教室



【第2回】

テーマ：北海道をグローバルにする

日時：2014年10月7日(火) 10:40~12:10

2014年10月8日(休) 19:30~21:00

講師：佐藤 のりゆき氏

会場：6号館C 30教室・7号館D 31教室



【第3回】

テーマ：国際自由人でグローバルに生きる

日 時：2014年10月9日(木) 16:20~17:30

講 師：藤村 正憲氏 Global Asia Investment Group CEO

会 場：2号館16番教室



【第4回】

テーマ：北海道からグローバルに挑むーメディカル・ツーリズム市場の開拓ー

日 時：2014年11月18日(火) 10:40~12:10

2014年11月19日(水) 19:30~21:00

講 師：坂上 勝也氏 メディカルツーリズム・ジャパン株式会社 代表取締役社長

会 場：6号館C30教室・7号館D31教室



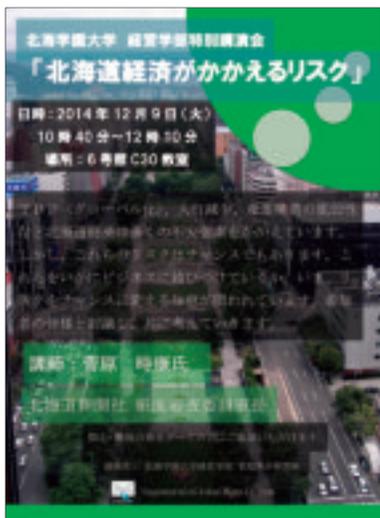
【第5回】

テーマ：北海道経済がかかえるリスク

日 時：2014年12月9日(火) 10:40~12:10

講 師：菅原 時康氏 北海道新聞社 紙面審査委員長

会 場：6号館C30教室



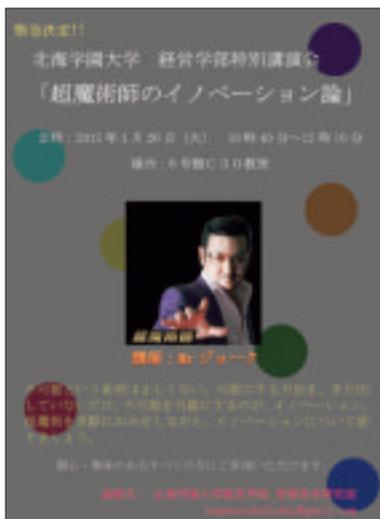
【第6回】

テーマ：超魔術師のイノベーション論

日 時：2015年1月20日(火) 10:40~12:10

講 師：Mr ジョーク氏 超魔術師

会 場：6号館C30教室



## 6. 経営学部グローバル人材育成セミナー (対象：本学学生，本学教職員，一般市民)

経営学部では，総合実践英語の企画として2014年度に経営学部グローバル人材育成セミナーを4回開催しました。これは昨年度までの経営学部特別講演会を引き継いだもので，国内外の様々な舞台で活躍される方々を講師としてお招きし，これまでの経験や現在の仕事の内容などを，お話しいただきました。今年度は講演会にあわせてオンラインの英語スピーキングテスト OPIc のトライアル受験や，昨年までと同様講師を交えた参加学生との交流会を実施するなど，多様な体験を参加者に提供しました。

講演会には経営学部生を中心にそれぞれ30-40名ほどの参加がありました。各回の概要は次のとおりです。

第1回：観光・ホスピタリティ産業の将来 ～国際観光の変化に照らして～

日 時：2014年7月8日(火) 14:30～15:50

講 師：ケイ・チョン博士 香港理工大学ホテル・観光管理学院長，教授

会 場：6号館C 30教室

第2回：企業からのグローバル人材への期待

日 時：2014年10月30日(休) 10:40～12:30

講 師：八木 智裕氏 (株)NEC マネジメントパートナー主幹

会 場：5号館コンピュータ実習室A 3 (英語スピーキングテスト OPIc トライアル・講演会)

第3回：海外で学び，海外で働くという選択肢

日 時：2014年11月28日(金) 14:20～17:00

講 師：堤 かほり氏 SORA 代表，元ヒルトンニセコビレッジ営業部長

会 場：7号館D 40教室 (講演会・交流会)

第4回：海外経験は，人生のターニングポイント～春休みは海外に飛び立て！～

日 時：2014年12月17日(休) 16:00～18:00

第1部：1. 学生プレゼンテーション『海外経験は，人生のターニングポイント』

伊藤 翔貴氏 経営学部4年生

2. 講演『海外へのアプローチを伝授』

牧野 健人氏 iSHiN 代表，本学経営学部卒業生

3. 情報提供『海外へのイロハ』

加藤 歩氏 北海学園大学生協

第2部：交流会

会 場：2号館E 20教室 (講演会・交流会)

北海学園大学  
経営学部グローバル人材育成セミナー  
観光・ホスピタリティ産業の将来  
～国際観光の変化に照らして～

2014年 7月8日(火) 14:30～15:50  
6号館 C30 教室

本講演会は無料で行われます(講演料なし)。聴講料の徴収としてもご利用ください。

講師：ケイ・チヨン博士

Professor Kaye Chan, Ph.D.

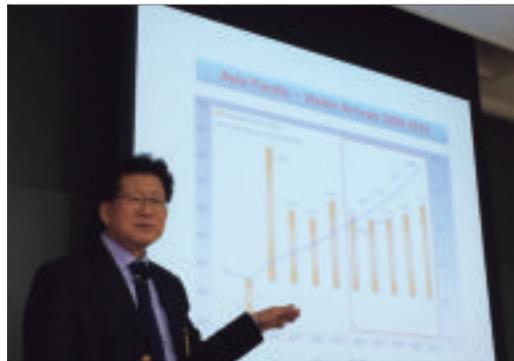
香港理工大學ホテル・観光管理学部長、教授  
Dean, School of Hotel and Tourism Management  
The Hong Kong Polytechnic University

米国メリーランド大学、シンガポール国立大学、ナリタ大学、バーミンガム工科大学で教育を受けたケイ・チヨン教授は、ホテルのマネージャーや観光コンシェルジュ等を育て 2000 年より香港理工大で教鞭を取られています。これまで教員経歴は 200 本以上の論文を執筆し、Welcome to Hospitality: An Introduction は世界の 200 を超える観光・観光施設で教科書として採用されています。



～経営学部生だけでなく、興味のある全ての方にご参加いただけます。～

TEL 名：北海学園大学経営学部国際研究課  
連絡先：本学経営学部国際研究課 iurano@hpu.jp



北海学園大学  
経営学部グローバル人材育成セミナー (2)  
企業からのグローバル人材への期待

2014年 10月30日(木) 10:40～12:30  
5号館コンピュータ実習室 A3

講師：八木智博氏

株式会社N E C マネジメントパートナー兼特



1979 豊橋大学工学部情報工学科卒業  
1980 日本電気株式会社 入社  
1999 ネエコムマーケティング  
2002 ネエコムマーケティング部長  
2004 ネエコムマーケティングアジアパシフィック部長  
2008 所属 ITマーケティングのグローバル事業部長  
2012 ネエコムマーケティング株式会社化  
現在 ネエコムマネジメントパートナー兼特 講師

第1部：OPPCキルトアイアム試験 10:40～11:40  
第2部：セミナー(講演) 11:40～12:30

TOPIC: 2014 Proximity Interview by Company 2014 企業から見たグローバル人材育成の現状と課題  
トピックとして、海外への就職活動の現状と課題をテーマに今年度最新のOPPCキルトアイアムを説明します。

- 経営学部以外の学生の参加も歓迎します。
- 参加には事前申し込みが必要です。200名以上、またはこのQRコードで申し込みページにアクセスしてください。  
<http://hpu.jp/nu2014/>
- お問い合わせは本学経営学部国際課 [G-int@hpu.jp](mailto:G-int@hpu.jp) まで。



北海学園大学  
経営学部グローバル人材育成セミナー (3)

海外で学び  
海外で働くという選択肢

2014年11月28日(金) \* 14:20~17:00  
7号館 D40 教室

\* 抽選有申込

講師： 渡かほり氏 (SORA 代表)

京都生まれ、京都育ち。高校からインターナショナルへ留学し、大学ではオーストラリアで経営学を専攻。その後、タイ、USA、ポルトガル、日本での子供服(下着)ブランドの創設を経て、2013年にも渡りSORAを設立。留学、ワーキングホリデー、ロングステイなど、さまざまな形で海外での暮らしを実現するためのサポートを行っている。



- アジア・アフリカ・オセアニア (9カ国)
- コロンビア (1カ国)
- コロンビア (1カ国)
- カンボジア (1カ国)
- カンボジア (1カ国)
- カンボジア (1カ国)
- カンボジア (1カ国)

第1部：講義 14:20~15:50  
第2部：交流会 (講話を聴いて) 16:00~17:00

- 経営学部生だけでなく、興味のある全ての方に参加いただけます。
- 問い合わせは本学経営学部まで [kusaka@bga.jp](mailto:kusaka@bga.jp) まで。



北海学園大学  
経営学部グローバル人材育成セミナー (4)  
海外経験は、人生のターニングポイント  
— 春休みは海外に飛び立て！ —

2014年12月17日(水) 16:00~18:00  
2号館 E20 教室

第1部：16:00~17:30

1: 学生プレゼンテーション「海外経験は、人生のターニングポイント」

伊藤明良氏 (経営学部4年)

京都から海外で学ぶ人。今の自分の海外経験が人生最大のターニングポイント。留学・アルバイト・人との出会い・国際経験を通して「海外経験」が大学生活で70歳を過ぎた自分の海外経験を学生生活で共有します。



2: 講演「海外へのアプローチを支援」

牧野健人氏 (SHIN 代表)

北海道生まれ。2014年11月北海道大学経営学部、在学中に経営学中心のキャリアを専攻。その後、長崎の国際センターで、2014年12月に卒業。その後、長崎の国際センターで、2014年12月に卒業。その後、長崎の国際センターで、2014年12月に卒業。

3: 情報提供「海外へのイロ/ロ」

加藤 伊兵衛 (北海学園大学生協)

2007年より北海学園大学生協で海外・サービス部門を担当。海外経験を活かしているが、海外で働くための、留学費に悩んでいる人も多い。個人旅行で済ませる人も少なく、海外経験が活かせない人が多い。



第2部 (交流会)：17:30~18:00

- 経営学部生だけでなく、興味のある全ての方に参加いただけます。
- 問い合わせは本学経営学部まで [kusaka@bga.jp](mailto:kusaka@bga.jp) まで。



## 7. 学部学生の企業研修

### 「企業研修」の目的等

グローバル化・高度情報化の進展・産業構造の変化などにもない、社会から求められる人材は大きく変わりつつあります。このため産官学連携による創造的人材の育成をめざす、いわゆるインターンシップ制度が、現在注目を集めています。経営学部では、「企業研修」という単位認定科目を設置し、学生が実際の企業・団体等において実習・研修的な就業体験をさせています。この「企業研修」では、学生が実際の企業における実地研修の経験を通して、現実の企業社会で求められる人材像を実体験として認識し、大学教育と結びつけることによって、より一層の教育効果をあげることを目的としています。

#### ・カリキュラムにおける位置づけ

科目名：「企業研修」2単位

対象：経営学部の1部3年生

履修者数：約20名

単位認定：卒業認定単位に算入 ※特別講義「企業研究」, 「ビジネスモデル分析 A」, 「ビジネスモデル分析 B」, 「キャリア育成講座」も同時履修

#### ・実地研修中の事故、損害、機密保持等のリスク対応

- ・「企業研修」履修生には、「学生教育研究災害傷害保険（インターンシップ・教職資格活動等賠償責任保険）」の加入を義務づけ、保険料210円を学生の負担といたします（補償金額は、対人賠償と対物賠償合わせて1事故につき1億円限度）。
- ・また、事前指導の際にも問題が起きないように十分にガイダンスします。

#### ・「企業研修」科目の授業形態

##### ①事前指導

- ・実地研修開始までに、プログラムのガイダンスやビジネスマナー、実地研修先の事前学習、報告書作成等の一斉指導。
- ・業界研究・企業研究、実地研修テーマ等について個別指導があります。
- ・この期間中に、各自の実地研修先を最終的に決定します。

##### ②実地研修

- ・夏季休業中、指定された研修先企業で所定の期間（2週間程度）、実地研修します。
- ・実地研修中は研修先の担当者が指導します。

##### ③事後指導

- ・事前指導および実地研修を通じて得たことの総括を行います。
- ・実地研修報告書の作成や、報告会での発表準備及び発表（プレゼンテーション）を行います。
- ・なお、報告会は、特別講義「キャリアデザイン講座」時間内で実施します。

## 「企業研修」の学生、大学、研修先企業・団体等の活動報告

学 生	大 学	研修先企業・団体等
11月 ～ 12月	「企業研修」カリキュラムの概要策定・募集要項の決定 次年度『「企業研修」ガイドブック』の作成 履修生募集説明会開催	次年度：実地研修カリキュラムの調整（企業概要の作成・確認）
1月	面接日時・場所の確認 面接 選考結果の確認	面接日時・場所の発表 履修申込者に対する面接 選考・合否の決定 合否の発表 実地研修先の発表
3月		次年度実習先への受入要請
4月	履修登録 健康診断の受診 事前指導（一斉・個別）受講開始	『「企業研修」ガイドブック』の発送 事前指導（一斉・個別）開始
5月	実地研修先の決定 実習に向けての準備	実地研修先の確定 研修先との連絡・調整（担当者の確認）
6月	「企業研修」保険料の支払い 研修先への挨拶・事前打合わせ 研修内容・日程等の確認	研修生依頼通知の受取 大学との「覚書き」締結
7月	研修先へ「誓約書」等書類提出 事前指導レポートの提出 結団式	研修内容・日程等の確認 事前指導レポートの受取 結団式
8月	研修先での実地研修 （～9月中旬）	研修先に「研修生評価表」を渡す研修中、研修先への訪問
9月	「報告書」の作成・提出 事後指導受講	「報告書」の受取 「研修生評価表」の受取 事後指導、報告会の準備
10月 ～ 12月	報告会での報告 報告会用：PowerPointの提出 修了式（修了証授与）	報告会、PowerPointの受取 成績提出
		報告会への参加

※研修先企業と大学との協定書締結は随時行う（新規のみ）。



## 「企業研修」の事前指導「ビジネスマナー講座」

特別講師：今 有貴・松岡 道明（キャリアバンク株式会社）

ビジネスマナー〈基本編〉 6月7日(土)実施		ビジネスマナー〈応用編〉 6月14日(土)実施	
内 容	進 行	内 容	進 行
ビジネスマナーの必要性 ・マナーとルールの違い ・社会人としての心構え 身だしなみ	講 義  講義＋ 参加型	前回の復習 挨拶の効用，ポイント お辞儀のポイント  実務マナーのポイント ・電話・携帯電話の受け方 ・名刺の受け渡し ・接客，接遇のマナー	講 義  講義＋ 参加型
挨拶の効用，ポイント ・お辞儀 ・礼法	講義＋ 参加型	・コミュニケーション ・好感のもてる話し方 ・聴き方	講義＋ 参加型
報告・連絡・相談（ハウレンソウ） ・5W3H	講 義	・お礼状の書き方	講 義
言葉遣い （敬語・二重敬語，若者言葉） ・クッション言葉 ・練習問題	講義＋ 参加型	質問	



## 「企業研修」の現地研修先企業・団体（2014年度）

業 種	現地研修先企業・団体
食品製造・販売	株式会社きのとや
情報・通信	パナソニックシステムネットワークス株式会社システムソリューションズジャパンカンパニー北海道社，富士通エフ・オー・エム株式会社
卸 売 業	丸水札幌中央水産株式会社，株式会社モロオ
報道・出版	株式会社毎日新聞社北海道支社
印刷・出版	株式会社プリプレス・センター
教 育	学校法人大原学園
観 光	株式会社グランビスタホテル&リゾート(札幌パークホテル)
サ ー ビ ス	キャリアバンク株式会社
そ の 他	一般社団法人北海道中小企業家同友会

## 「企業研修」の事後指導「報告会」



## 8. 海外総合実習プログラム

・実習の目標：

「日本とカナダの企業分析」を題材にした英語学習をすることで、ビジネスパーソンとのコミュニケーションスキルを習得する。

・実習の目的：

- ①国際共通語として英語を使用する人が増える中、今やネイティブスピーカーはマイノリティとなった。実習では、世界中の学生が集まる語学研修に参加し、多様な英語に触れる。
- ②海外の人たちと仕事をしていくためには、商習慣、企業文化などの理解は不可欠である。実習では、企業の比較分析をして、海外の企業文化に出会う。
- ③海外の人たちとつながっていくためには、若い時に「通じた」という体験が必要である。実習では、企業の現場に足を運び、実際に英語を使う経験をする。

・実習参加者：経営学科3年－2名，経営学科2年－5名，経営情報学科2年－4名

計 11名

・語学研修実施期間：2014年8月31日(日)～21日(日)

・実施概要：

海外総合実習は、15回の講義と実習、カナダ・ブロック大学における3週間のホームステイと語学研修、カナダ地元企業訪問で構成された。

講義では、カナダの地理・文化・スポーツ・産業、業界分析・企業分析の方法、プレゼンテーションの技法、異文化コミュニケーションをテーマとし、実習では、日本の銀行、ホテルに関するリサーチ、株式会社北海道銀行と鶴雅グループ・定山溪森の調の企業訪問、リサーチ結果のレポート作成、プレゼンテーションの準備を行った。

講義・実習の過程では、ノーマルスピードのリスニング、10種類の自己紹介文の作成を行い、語学面での強化を図った。

語学研修では、カナダ・ブロック大学で開講されている14週に渡る Intensive English Language Program (IELP) の最初の3週間をカスタマイズする形で、文法、



株式会社北海道銀行でのレクチャー



鶴雅グループ、森の調での施設見学

リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングの授業を受講した。また、企業訪問では、カナダ最大の金融機関である Royal Bank of Canada とナイアガラの滝に隣接した Hilton Hotel Niagara Falls を訪問し、それぞれのマネージャークラスのスタッフと面談し、プレゼンテーション、意見交換を行った。

現地滞在中には、市長表敬訪問、ブロック大学のビジネススクールである Goodman school of business の講義と応用健康科学部の Department of Sport Management の講義の聴講、トロント在住の経営学部卒業生とのディナーミーティングなどを実施した。観光としては、ナイアガラの滝、トロント市内、ワイナリー、ウェランド運河博物館、アウトレット・モール、アイスホッケーの試合観戦、マジックショーなどを満喫した。

カナダ滞在中は、一日のスケジュール、学んだこと、失敗したこと、英語に関して学んだこと、以上の4点について、毎日ブログにアップし、仲間同士、日本にいる家族、教員が個々人の動きが分かるようにした。

帰国後は、残された2回の講義の時間を利用して、グループワークを通じた実習の総括ならびにレポートの作成を行った。

・特記事項：

本年度の海外総合実習の語学研修は、昨年に引き続き、ブロック大学で行われた。人文学部で長年実施されてきたプログラムに合流する形をとっているが、現地企業訪問、プレゼンテーションリハーサル、メインキャンパス授業聴講など、経営学部用にカスタマイズされたプログラムで実施した。

企業訪問では、学生たちは言葉の苦労を実感しつつも、休日返上でブロック大学図書館のミーティングルームでプレゼンテーション準備作業を行った。またその過程で、2チーム（銀行チーム、ホテルチーム）で互いのプレゼンを披露し、評価しあうといったことも自主的に試みた。その結果、プレゼン本番では多くの学生が一定の手ごたえをつかんで終了することが出来た。

また前述した日記や自己紹介文作成のためのブログ活用のほか、レポートおよびプレゼン資料作成過程では Dropbox などのチームごとの共有フォルダを、日々の連絡や情報提供、情報共有については LINE や Google フォームを有効に活用した。このような ICT ツールを学生・引率教員共に積極的に活用したことが、全体を通して充実した学習につながっていった。



ブロック大学 ESL 校舎でのプレゼンテーションリハーサル風景



Royal Bank of Canada でのプレゼンテーション風景



チームの共有フォルダ



アクティビティで訪問した  
ワイナリーにて



研修最終日に参加した  
ぶどう踏み祭の写真

2014年 海外総合実習  
カナダ・ブロッック大学での研修！

2014年09月05日

**September 4th**

1) Today I woke up 5:30. After I ate breakfast, got on the bus at 6:48. My class started at 8:00. And it finished at 13:30. I went to McDonalds with my friend. After that my group prepared for presentation. And went to the pizza restaurant together.

2) Today, I learned two things. The first, Canadian pizza is very big! I ordered small size but it is hard to eat. But, the size of hamburger is similar to Japanese one. The second, Chinese university is very

携帯ボックス

2014年09月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

研修中の毎日のレポートを掲載したブログ



Hilton Hotel Niagara Falls での  
プレゼンテーション



メインキャンパスでの授業聴講後、  
professor との記念写真



ブロック大学 ESL での授業風景

## 9. 保護者懇談会

経営学部では毎年、保護者懇談会を道内4地区（函館・札幌・帯広・旭川）で開催しております。

この懇談会では大学の現状、学生生活、就職活動についての説明を行い、また希望される方には引き続き、個人成績等に基づいた個別面談（相談）を実施しております。

### 2014 年度参加人数

	札幌	帯広	旭川	函館	計
組数	62	4	11	8	85

### 2014 年度経営学部保護者懇談会開催要領

#### 1. 日程・開催場所

【函館会場】2014年10月5日(日) 9:30~13:30 函館北洋ビル

【札幌会場】2014年10月19日(日) 9:30~13:00 本学7号館

【帯広会場】2014年10月26日(日) 9:30~13:00 とかち館

【旭川会場】2014年11月2日(日) 9:30~13:00 旭川北洋ビル

#### 2. 主な内容

【札幌会場】	就職活動支援勉強会・経営学部説明会（教務事項説明・経営学部の就職指導について）・個別相談会
【その他の会場】	全体説明会（大学代表者挨拶・学生生活について） 保護者のための「就職活動支援勉強会」・個別面談



会場入口（札幌会場）



受付（札幌会場）



佐藤淳 経営学部長より挨拶 (札幌会場)



森永泰史 教務委員より教務事項説明 (札幌会場)



大石雅也 キャリア支援委員より就職指導について(札幌会場)



全体説明会の会場の様子 (札幌会場)



個別面談の様子 (札幌会場)



個別面談の様子 (函館会場)



個別面談の様子 (帯広会場)



個別面談の様子 (旭川会場)

## 10. 就職内定状況

### 経営学部卒業予定者の主要内定先

業 種	内定先名称 (2015年2月15日現在)
官公庁・団体	厚岸町役場(釧路町村会, いわみざわ農業協同組合, 江別市役所, 北広島市役所(消防), 国立大学法人北海道大学, 札幌市役所(消防), 札幌市役所(一般事務), 自衛隊一般曹候補生, 新函館農業協同組合, 苫小牧市役所, 日本年金機構, 登別市役所, 函館市役所(消防), 北竜町役場(空知町村会), 北海道警察, 北海道職員(一般行政), 北海道職員(警察行政), 北海道人事委員会(北海道庁), 北海道土地改良事業団体連合会
建設・住宅・不動産	株式会社石山工務店, 株式会社一条工務店, エムエムエスマンションマネジメントサービス株式会社, 有限会社 canal, 株式会社協和日成, 株式会社札幌副都心開発公社, 常口アトム, 大和ハウス工業株式会社, 武グ技建創株式会社, 東急リパブル株式会社, 株式会社ニットメンテナンス, 株式会社 HandMade, 株式会社ビッグ, 北海道セキスイハイム株式会社, 三井不動産リアルティ札幌株式会社, 株式会社ヤマチコーポレーション
水産・食品	株式会社伊藤園, 株式会社江戸屋, 佐藤水産株式会社, 日本食研ホールディングス株式会社, 株式会社原田, 北海道ココ・コーラボトリング株式会社
医薬品・医療関連・化粧品	小野薬品工業株式会社, 株式会社三和化学研究所
電子・電機	東芝テック株式会社, 株式会社マウスコンピューター
鉄鋼・非鉄・金属製品	北海鋼機株式会社
印刷・パッケージ	大阪シーリング印刷株式会社, 総合商研株式会社
エネルギー	北海道電力株式会社
銀行	株式会社日本政策金融公庫, 株式会社北洋銀行, 株式会社北陸銀行, 株式会社北海道銀行(ほくほくフィナンシャルグループ), 北海道信用保証協会, 株式会社ゆうちょ銀行(日本郵政グループ)
信用金庫・労働金庫	旭川信用金庫, 小樽信用金庫, 苫小牧信用金庫, 日高信用金庫, 北門信用金庫, 北海信用金庫, 北海道信用農業協同組合連合会
信販・クレジット・ファイナンス	株式会社ジャックス
その他金融	株式会社アークス, 株式会社アスクゲート, 株式会社ネクシィーズ
リース・レンタル	株式会社杉孝, 株式会社ナック
保険	NKSJ ひまわり生命保険株式会社, 株式会社かんぽ生命保険(日本郵政グループ), 住友生命保険相互会社, 全国共済農業協同組合連合会, 株式会社損害保険ジャパン, 第一生命保険株式会社, 東京海上日動火災保険株式会社, 株式会社ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング, 株式会社フィナンシャル・エージェンシー
証券・投信・投資顧問	上光証券株式会社, 野村証券株式会社
商社	アドヴェンチャー株式会社, 京都きもの友禅株式会社, 秋山興業株式会社, ノアインターナショナル株式会社, 株式会社ほくやく, 株式会社モロオ, 大槻食材株式会社, 北一食品株式会社, 桜井通商株式会社, サッポロウエシマコーヒー株式会社, 株式会社ナシオ, 日本アクセス北海道株式会社, 日本ハム北海道販売株式会社, 丸水札幌中央水産株式会社, 株式会社岩崎, 株式会社竹山, 株式会社トミタ, バナソニックメディアコムネットワークス株式会社, 株式会社北海道クボタ, ヤンマーアグリジャパン株式会社北海道カンパニー, 和商株式会社, 北ガスジェネックス株式会社, 株式会社新和, 日商プロパン石油株式会社, 北海道エナジティック株式会社
その他商社	大丸藤井株式会社, 株式会社丹波屋, 北海紙管株式会社, リコージャパン株式会社
百貨店	株式会社オルゴール堂, 株式会社札幌丸井三越, 株式会社セブン-イレブン・ジャパン, 株式会社東急百貨店, 株式会社ラルズ
コンビニエンス・GMSストア	イオン北海道株式会社, 株式会社コメリ, 株式会社ドン・キホーテ

業 種	内定先名称 (2015年2月15日現在)
フードサービス	株式会社サイゼリヤ, シグックス株式会社
ホテル・旅行	札幌グランドホテル(株式会社グランビスタホテル&リゾート), 株式会社JTB北海道, 株式会社日本旅行北海道, 株式会社フレンドステージグランベルホテルグループ, 名鉄観光サービス株式会社, 株式会社稚内サンホテル
専門店	株式会社ファミリー, 北海道スバル株式会社, 株式会社マルベリー, 千代田サービス販売株式会社, 株式会社ニトリ, 株式会社ホームマックニコット, フラワーヒルズ株式会社, 株式会社もりもと, 青山商事株式会社, 株式会社エービーシー・マート, 株式会社ジーフット, 株式会社スタートトゥデイ, 株式会社ユニクロ, 株式会社アインファーマシーズ, 株式会社サエグサ薬品, 株式会社サッポロドラッグストア, 株式会社サンドラッグプラス, 株式会社ツルハ
生活協同組合	生活協同組合コープさっぽろ
その他専門店	札幌アポロ石油株式会社, 有限会社マルキ木下商店
教育・学習支援業	学校法人大原学園, 練成会グループ
エンターテイメント	株式会社札幌ドーム, 株式会社北海道日本ハムファイターズ
調査・コンサルタント	株式会社吉岡経営センター
人材紹介・人材派遣	株式会社インテリジェンス, 有限会社エイチ・ピー・エヌ, 株式会社キャリア, 株式会社パソナ, 株式会社ライズ
その他サービス	株式会社Eストア, 株式会社エフブレイン, 株式会社エル, 株式会社カナモト, 三幸グループ, 株式会社CDG, 創和プロジェクト株式会社, 東京海上日動事務アウトソーシング株式会社, 日本郵便株式会社(日本郵政グループ), 株式会社日本防災技術センター, ほくでんサービス株式会社, 株式会社マーキュリー, マスダプランニング株式会社, 三菱電機ビルテクノサービス株式会社, 株式会社リンク・アイ, 株式会社れんせい
情報処理・ソフトウェア	株式会社HBA, SOC株式会社, コンピュートロニクス株式会社, 株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア, TIS北海道株式会社, 日本アイビーエム・ソリューション・サービス株式会社, 日本ビジネスシステムズ株式会社, ハイテックシステム株式会社, 富士通エフ・アイ・ピー株式会社, 株式会社ホープス, 株式会社北央情報サービス, 株式会社マイナビ
情報・インターネットサービス	キャノンシステムアンドサポート株式会社
情報(通信・マスコミ)	エヌ・ティ・ティ・データ・カスタマサービス株式会社, KVH株式会社, 新日本法規出版株式会社, 株式会社フラクタル, 株式会社北海道アルバイト情報社
運輸・倉庫	株式会社サカイ引越センター, 日本梱包運輸倉庫株式会社, 日本通運株式会社, 北海道中央バス株式会社, 北海道旅客鉄道株式会社
医療・福祉施設	医療法人新産健会, 株式会社ふとみ総合施設, 株式会社ベストライフ, 公益財団法人北海道結核予防会, 北海道国民健康保険団体連合会
専門・技術サービス	税理士法人池脇会計事務所, 渡辺正武会計事務所

※認定心理士の資格は、2001～2013年度までの13年間で247名が取得しました。また、2014年度卒業生の取得予定者は27名です。

## 11. 経営学部教員の学会発表活動

### 経営学部教員の学会発表活動（五十音順）

氏名	学会名	会場	発表日	発表テーマ
青木千加子	外国語教育メディア学会	福岡大学	8月6日	CMCにおける言語形式への気づき
浅村 亮彦	日本心理学会	同志社大学	9月12日	認知的失敗とメタ認知能力との関連
	日本教育心理学会第56回総会	神戸国際会議場	11月8日	メタ認知的な意識づけによる批判的思考への効果—文献講読演習の場合—
石井 耕	企業家研究フォーラム	大阪大学	7月19日	アジア直接投資の企業行動 1985-2000年
上田 雅幸	日本情報経営学会	大正大学	5月24日	クリニカルパス as a Service—サービスロジックを基盤として—イノベーションの評価に関する研究
	日本生産管理学会	名古屋工業大学	9月7日	Excel ソルバーにより意思決定の練習を行う教育方法に関する一考察—サークル練習スケジュール作成を例に—
浦野 研	中部地区英語教育学会	山梨大学	6月21日	英語教育研究法の過去・現在・未来
	第17回国際応用言語学会世界大会学会	オーストラリア	8月14日	“Culture Swap”: A Survey-Inspired Modular Digital Course for Moodle (学習者調査に基づいたCMSのためのコースモジュール「カルチャー・スワップ」の開発)
	外国語教育メディア学会	同志社大学	10月11日	研究会をひとりでも多くに届ける：ライブ中継や資料共有の方法
	全国英語教育学会第2回英語教育セミナー	関西大学	10月26日	英語授業を見つめなおす方法：テストデータの見方を知ろう
大平 義隆	日本マネジメント学会	文京学院大学 本郷キャンパス	6月1日	産学連携動向に関するポスター展示とプレゼンテーション
	日本マネジメント学会 北海道・東北部会	ハーネル仙台	12月13日	我が国の経営管理再考とその論理的基盤
春日 賢	日本経営倫理学会	青山学院大学	6月21日	ドロッカー・マネジメントの倫理的意義—マネジメント概念の学史的考察—
	日本経営学会	国士館大学	9月6日	知識社会にける人間モデルをめぐって—ドロッカーの「知識労働者」概念—
小島 康次	ピアジェ学会発表	サンフランシスコ	5月30日	Rethinking Piaget's epigenesis from a dynamical systems approach ダイナミカル・システムズ・アプローチによるピアジェ理論再考
	日本発達心理学会	大阪大学	8月9日	A dynamical systems approach to the development of the “identity”
	日本発達心理学会(認知発達理論分科会)	京都大学東京オフィス	9月13日	生得一経験論争に終止符を打つ！
	日本質的心理学会	松山大学	10月19日	〈私〉をめぐる謎を斜めから見る

氏名	学会名	会場	発表日	発表テーマ
佐藤 淳	日本教授学習心理学会	仙台白百合女子大学	7月5日	定規型ルールの適用に及ぼす負事例提示の効果—命題表象の継時的変化に着目して—
佐藤 芳彰	日本情報経営学会	大正大学	5月24日	首都圏と地方の交流を通しての地域活性化
下村 直樹	日本商業学会	一橋大学	6月1日	物語広告による自己参照
菅原 浩信	地域活性学会	東京農業大学オホーツクキャンパス	7月6日	商店街組織によるコミュニティ・カフェのマネジメント
	日本流通学会	阪南大学	11月23日	商店街組織による地域情報誌の発行
	生活経済学会	東北福祉大学	11月15日	商店街組織が運営する地域通貨の意義と課題
鈴木 修司	日本心理学会	同志社大学	9月1日	ピーナッツ効果における決定様式の影響
関 哲人	日本情報経営学会	大正大学	5月24日	ASPにおける情報品質の生成
内藤 永	大学英語教育学会 (JACET)	広島市立大学	8月29日	Acquiring English Communication Skills in Global Business Environments
	グローバル人材育成教育学会	国際教養大学	11月15日	国内・海外インターンシップの新しい展開—研修内容の多様化と事前準備学習の重要性
古谷嘉一郎	日本心理学会	同志社大学	9月10日	情報収集志向性が精神的健康に及ぼす影響
	日本グループ・ダイナミックス学会	東洋大学	9月6日	小児心肺蘇生講習と保育実習が参加者の講習に対する考えと心肺蘇生の知識に及ぼす影響
増地あゆみ	静態電磁気学会・ヨーロッパ生体電磁気学会2014年年次大会	南アフリカ・ケープタウン	6/7~6/14	Risk perceptions of mobile communication in Japan 携帯電話の電波のリスクに対する認知
マツネ・マーク	大学英語教育学会 (JACET)	広島市立大学	8月29日	Acquiring English Communication Skills in Global Business Environments
山中 亮	日本学生相談学会	神奈川大学	5月18日	学生相談カウンセラーによるハラスメント相談—カウンセラーが取り得る役割について—
	日本心理学会	同志社大学	9月12日	青年期における故人との絆のあり方
吉川 大介	バジュリエ・ファイナンス国際学会	ベルギー	5/30~6/7	A Theory of Risk Management with Model Risk and Finiteness Number of Issued Securities

## 12. 経営学部刊行物

### ・経営論集

巻号	執筆者	論文名
第12巻第1号 通巻第38号 (2014.6)	春日 賢	ドラッカーにおける「目的・目標」をめぐって—マイクロ・マクロ・リンクへのアプローチ—
	森永 泰史	“Designer-As-Integrator” と “The Dark Matter of Innovation”—デザイナーはイノベーションとどのようにかかわっているのか—
	森永 泰史	協力者に焦点を当てたイノベーション研究の必要性
	上田 雅幸	学生による Excel 機能を活用したサークル練習スケジュール作成
	大石 雅也	全社的なメンタルヘルス対策の導入—鉄道会社 T 社の事例—
第12巻第2号 通巻第39号 (2014.9)	春日 賢	ドラッカーとコミュニティ—社会への視点をめぐって—
	関 朋昭	日本の学校スポーツに関する研究—スポーツ経営と勝利至上主義に着目して—
	菅原 浩信	発寒北商店街におけるアトム通貨の活用
第12巻第3号 通巻第40号 (2014.12)	春日 賢	『企業とは何か』の意図とアプローチ—ビジネスの書か、政治学の書か—
	黒田 重雄	マーケティング学の試み：草稿
第12巻第4号 通巻第41号 (2015.3)	春日 賢	『企業とは何か』（1972年版）について—「まえがき」「エピローグ」の検討—
	菅原 秀幸	大学教育改革へのアカデミック・コーチングの挑戦—教育 OS から学習 OS への転換—
	下村 直樹	物語広告に対する情報処理とその効果
	黒田 重雄	日本におけるマーケティングの源流に関する一考察 —近江商人の経営原理とドラッカーの “Management” との関係にも言及—

### ・経営学部報（パッセージ）

号	発行月
第23号	2014年7月
第24号	2015年3月



## 13. 人事異動等

### 採用・退職

種 別	氏 名	発令年月日	備 考
採 用	近藤 弘毅	2014年4月1日	経営史
採 用	今野 善文	2014年4月1日	ベンチャー経営論
採 用	関谷 浩行	2014年4月1日	管理会計
採 用	吉川 大介	2014年4月1日	金融システム論



近藤 弘毅



今野 善文



関谷 浩行



吉川 大介

### 海外出張・研修

種 別	氏名・研修期間	備 考
海外出張	石井 晴子 教授 2013年9月1日～2014年8月31日	英国（ロンドン市・ロンドン大学大学院）



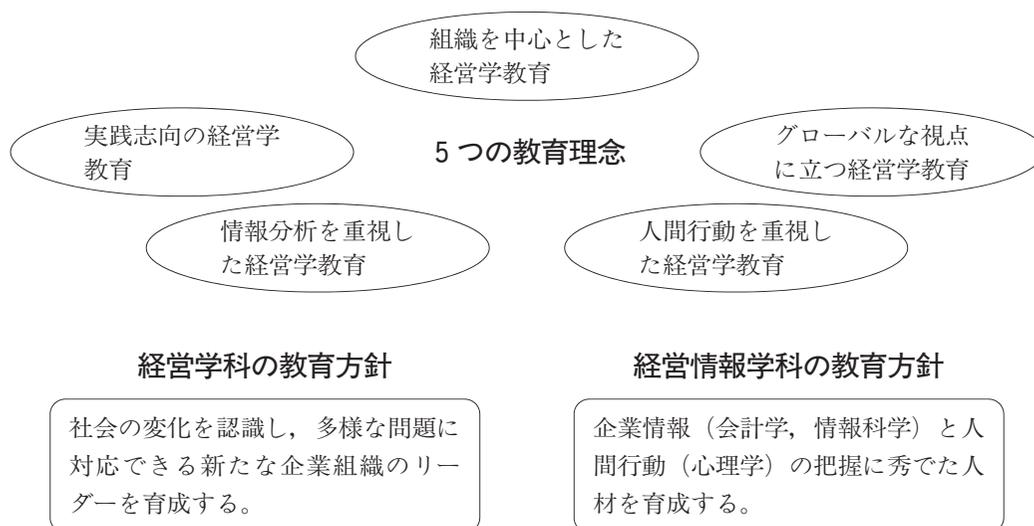
石井 晴子



## 14. 経営学部の教育目標

### 経営学部のディプロマポリシー（学位授与の方針）

自由，進取及び不屈の精神を涵養し，経営分野の専門知識とそれを活かす実践力とを併せ持ち，組織や社会を力強く発展させることができる優れた人材を育成する。



### 学部教育の特色

今日の企業組織を取り巻く環境変化は，合理性ばかりでなく，社会性，人間性，創造性にもとづく問題解決を必要としています。本学部の目的は，こうした新しい社会の動向に沿った問題解決能力を有する人材の育成に努めることです。そこで，合理的なマネジメント教育はもとより，グローバル化の流れに対応するコミュニケーション手段としての実践的な英語教育，高度な情報ネットワーク社会に対応する最新のマルチメディア教育，社会性や人間性を探究する心理学教育，生涯を通じた仕事のあり方を考えるキャリア教育を体系的に展開します。そして，学んだ知識を実践に活かす企業研修プログラムや海外総合実習，行動科学実験実習等の様々な実習科目の配置によって，ロジックに通じるばかりでなく，高い実践性を有する人材を育成します。このような特色は，他大学の経営系学部には類を見ないものです。

体系的なキャリア教育

企業研修プログラム

高いレベルの情報教育

体系的な心理学教育

実践的なビジネス英語教育

海外総合実習